

ちえふくろ



〒108-0014 東京都港区芝 5-27-5

NPO 法人 トータルライフサポート

TEL 03-3453-6210

FAX 03-3453-6208

【マザーテレサの家に行ってきました！】

インド滞在時に早朝歩いて15分くらいのガート沿いにある『マザーテレサの家』を訪ねました。

「ナマステ！」と挨拶をすると、「荷物をここに置いて、これを着けてください」とチェックのエプロンを渡されました。

エプロンを着けたあとに案内された場所は20畳くらいの大きさで、障害や疾患のある男性(20~80代)15名ほどがタイルの床に素足で座って、まあるくなって朝食をとっていました。食後、シスターから「洗濯を手伝ってください」と言われ、直径1メートルくらいあるタライを渡されました。

タライに洗濯物(シャツやパンツやシーツなど)を入れて、足踏みをして洗います。その後別のタライに移してすすぎ、そのあとは脱水ですが、もちろん手で絞ります。これがえらく大変で私が気合いを入れて絞っていると、20代前半の爽やかな笑顔の日本人男性が入ってきました。

一緒に絞った洗濯物を屋上に干し終わると、シスターから「彼らの爪を切ってください」と爪切りを渡されました。その時、気がついたのですが、私は今までの人生で自分の爪以外切ったことがなかったのです。私はドキドキしながら爪を切りましたが、私よりも切られている人の方がよっぽどドキドキしていたように思います。実際どちらがボランティアかわからない状況でした。

笑顔の爽やかな青年はシスターから「Aさんの髭を剃ってください」と組み立て式の剃刀を手渡されました。彼は剃刀の刃を取り付けながら「私は剃刀を使ったことがないんです。髭を剃るときはいつも電気シェーバーを使っているので・・・」と困惑した表情でした。

そんな彼は医大生で、南インドの病院に留学で来ていて、日本に帰る途中にバラナシに立ち寄り『マザーテレサの家』にひとりでボランティアに来たのです。

Aさんの髭を剃る彼の顔や頭から、汗がにじみ出て流れ落ちていました。汗を拭うこともなく、真剣にAさんの様子を観察しながら、丁寧に髭を剃っていました。

初めての体験にも関わらず、相手を不安にさせないよう気遣う姿勢を横で見ている、だんだんと感動がこみ上げてきました。

その後、お昼の時間になり、食事のお手伝いをするのですが、彼は座っている男性(脳性麻痺があるようでした)Bさんの正面に同じ姿勢で座りました。彼はBさんの食べるスピードに合わせて、また食べるタイミングに合わせて、スプーンを口に運んでいました。私はお水の担当でした。

こういうお医者さんに診てもらう人は幸せだと思いました。彼は心臓外科を目指しています。今回の旅で私の将来の安心が、またひとつ増えました！ 三国浩晃